



岩城少年自然の家だより

自然は友だち 青い海原 緑の山なみ

のべ利用者数（1983年6月～2026年7月） 1,155,834 名 7月の利用者数 1,232 名

秋田県立岩城少年自然の家
（ガンパル岩城）2026. 8. 21

協賛 glassy water adventurer

わんぱくキャンプ（夏）



由利地区の豊かな自然や文化を直接体験する機会

8月6日から8日まで、二泊三日の日程で「わんぱくキャンプ（夏）」を開催しました。

本事業は応募者多数で抽選となる大人気事業です。今年も子どもたちだけでやり遂げる3日間の自然体験を目的に、19人の子どもたちが岩城少年自然の家に集いました。

子どもたちは、鳥海山や二古海岸などの豊かな自然の中で、集団生活と「人・もの・自然」に直接触れる自然体験を通じて、自律と協働の大切さを学ぶために、夏空の下、海や山、そして岩城の里で元気に活動しました。

事業担当者は鳥海山登山を成功させるために、7月に自ら鳥海山に登り、登山道を自分の足で確かめました。そのときの様子が施設のSNSに掲載されています。登山を通じて子どもたちの心に何か残るものがあるのなら、担当者冥利に尽きると思います。

また、子どもたちは岩城地区の寺院や旧跡を訪れて、故郷に継承される歴史や文化に直接触れる体験をしました。子どもたちの表情から、「自らを律する力、仲間と協力して成し遂げる力、体験を共にした仲間」を得たのではないかと感じました。

子どもたちの活動の様子は、施設のインスタグラムやフェイスブックで閲覧することが可能です。日を追うごとに仲良くなる子どもたちの姿を、ぜひご覧ください。



秋田ノーザンビレッジ株式会社 国土交通省大臣官房審議官 国土交通省国土政策局 国土交通省国土政策局 SUNDRED株式会社CEO
小原諒平氏 天野正治氏 神昌秀氏 渡邊和敬氏 留目真伸氏

5月下旬、秋田ノーザンビレッジ株式会社小原氏より「当社として、国土交通省事業の応募にあたりご相談したいことがあります。これから伺ってもよろしいですか。」という連絡をいただきました。

小原氏からは、会社としてプロスポーツチームを核とした子どもの居場所づくりを進めたいこと、子どもたちに体験の機会を提供したいこと、そのために、様々な体験の機会を提供している岩城少年自然の家と連携して、子どもたちに自然体験の機会を設けたいことなどについてご相談いただきました。

小原氏の熱い思いを聞いて、施設の体験プログラムが子どもたちや地域社会の役に立つのであれば協力させていただくことをお伝えしました。

7月上旬、小原氏から「来週、関係省庁の方々をお連れしたいと考えています。」というご連絡をいただきました。当日は写真の方々に訪問いただき、施設運営や事業等の具体について説明しました。

天野正治審議官からは、「国土交通省の新たな施策となる事業です。ぜひ、お力を貸していただきたいと思います。一緒に写真を撮りましょう。」という言葉いただきました。

8月上旬、第一回の官民協議会が開催され、官民協力の下で子どもたちの居場所づくりを進めることが確認されました。施設職員の取り組みが、秋田市や由利本荘市の子どもたち、地域社会のために役立つのであればこれ以上無い幸いです。我々のもつ経験と体験プログラムを提供して参ります。

9月の予定

受け入れ団体等

院内小学校	3日（木）～ 4日（金）	秋田県子ども育成連合会	11日（金）～ 13日（日）
城北小学校 からまつ吹奏楽団	4日（金）～ 5日（土）	大内小学校	16日（水）～ 17日（木）
秋田県厚生協会	9日（水）	矢島小学校	17日（木）～ 18日（金）
追分小学校	10日（木）～ 11日（金）	岩城小学校	17日（木）～ 18日（金）
岩谷小学校	10日（木）～ 11日（金）	秋田県Ⅰ型糖尿病の会	20日（日）～ 22日（火）

<主催事業>

キッズキャンプ 26日（土）

スペース・イオ 25日（金）